

資料 1-12

重要な種の移植・播種の手法について

環境保全措置として実施する「重要な種の移植・播種」について、種ごとの移植・播種手法については、以下のとおり計画している。

なお、移植方法（移植手法、移植場所の選定、移植個体数又は株数、移植時期等）、モニタリング方法等の詳細な内容については、工事計画の具体化に合わせて事後調査計画を策定し、専門家の助言を踏まえて実施していくこととする。

表 移植・播種手法の区分

No.	対象種	生活型	移植・播種手法	移植・播種時期	事例の有無
1	オオハナワラビ	多年生草本	①	春季	ハナヤスリ科で有り
2	トキホコリ	一年生草本	③	秋季	有り
3	サネカズラ	常緑つる性木本	①	晩秋～冬季	有り
4	ミズマツバ	一年生草本	③	秋季	有り
5	トダイアカバナ	多年生草本	①	春季	アカバナ属で有り
6	サワトウガラシ	一年生草本	③	秋季	サワトウガラシ属で有り
7	カワラニガナ	多年生草本	①	春季	有り
8	カワラウスユキソウ	多年生草本	①	春季	ウスユキソウ属で有り
9	ウリカワ	多年生草本	①	初夏	有り
10	アイノコイトモ	多年生草本	②	秋季	ヒルムシロ属で有り
11	ヒメシャガ	多年生草本	①	秋季	有り
12	カキツバタ	多年生草本	①	秋季	有り
13	ホシクサ	一年生草本	③	秋季	有り
14	アゼナルコ	多年生草本	①	秋季	有り
15	ヒナスゲ	多年生草本	①	秋季	スゲ属で有り
16	コケイラン	多年生草本	①	秋季	有り

表 移植・播種手法の内容

移植・播種手法		内容
①	陸生植物の 個体移植	植物個体を掘り取り、移植する。掘り取りは、根系の大きさにあわせて土壌ごと行い、活着しやすいよう配慮する。また、移動時には湿らせた新聞紙等で覆い、植物体が傷まないよう配慮する。 移植先には当該種の生育適地を選定し、元の生育地と類似した環境を基本とする。
②	水生植物の 個体移植	植物個体を採取し、移植する。採取は植物体のみとし、この際、根を傷めないように注意する。可能ならば生育地の水とともに採取し、移動時に植物体が傷まないよう配慮する。 移植先には当該種の生育適地を選定し、元の生育地と類似した環境を基本とするが、活着しやすいように、水の流れの激しい箇所は選定しないこととする。
③	一年生草本 の播種	結実時期に果実を採取し、播種する。また、生育地周辺の土壌に果実が含まれている可能性があることから、周辺の土壌を薄く剥ぎ取り、採取した果実とともに播種先にかくこととする。 播種先には当該種の生育適地を選定し、元の生育地と類似した環境を基本とする。